

港区基本計画・芝浦港南地区版計画書（素案）区民参画組織提言の反映状況

芝浦港南地区総合支所協働推進課

提言番号	提言	提言理由	所管課	反映結果				提言への対応	
				地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない		
1	昼夜を問わず誰もが安心して散歩することのできる運河沿いの遊歩道を実現する	芝浦港南地区は海辺や運河があり水辺環境に恵まれたまちですが、水辺に対して肯定的な印象があまり持たれていません。そのため、水辺の良さを再認識してもらうために、運河沿いの遊歩道を活用しながら、住民及び来訪者が運河を楽しみ、運河に親しみ、身近に感じてもらえるような取組を提案します。	まちづくり課		○			「運河の魅力向上の推進」で対応します。運河沿いの遊歩道を整備するほか、来訪者が運河に親しみをもてる事業を実施します。また、昼夜も安心して運河を散歩できるよう安全・安心や身近に親しんでもらえる観点からも橋りょう等のライトアップの実施・発信を行うことにより、運河のイメージアップを図ります。	
2	運河の魅力を高め、身近に感じてもらうイベントを実施する		協働推進課	○				「水辺のまちサーキュラーLAB.」で対応します。多様な主体（企業や大学等）との連携により、運河と文化芸術を融合した取組や運河に関する啓発活動を行うことで、運河への愛着や関心を深めます。	
3	自然を生かし、自然に触れ合える継続性のある取組を実施する	芝浦港南地区は公園整備や商業・業務施設の建設による植栽地整備により緑被率が増加していますが、他地区と比較すると緑被率が低い状況です。都心では自然とふれあう機会も少ないことから、住民が年間を通して自然とふれあうことのできる取組を提案します。 また、駅前など中心部にはごみのポイ捨てが多いことから、マナーの徹底とともに地域の企業や住民などの多様な主体が美化活動に参加することで、美しいまち芝浦港南地区の実現に向けた取組を提案します。	まちづくり課	○				「ベイエリアみどりをつなぐプロジェクト」で対応します。芝浦公園の田んぼでの田植えや稲刈り体験等、区民が自然とふれあう機会を更に創出するほか、自然を身近に感じ、子どもたちに自然を大切に思う心を育むための事業を実施します。	
4	地域の企業や住民などの多様な主体の参加を一層促し、美化活動を推進する		協働推進課		○			「環境美化の推進」で対応します。美化意識の向上とともに、参加者や参加企業等が親睦を深めることのできる交流の機会を創出し、参加を継続できるような仕組みをつくります。	
5	災害時における情報コンテンツや情報伝達手段の認知度を向上させる	芝浦港南地区では防災に関する取組が多いものの、防災に関する情報が住民に十分伝わっていない状況にあります。また、運河沿いの治安面やマナーに不安を感じる住民も多くいます。そこで、いかなる環境においても安心して暮らせるまちをめざし、情報伝達手段の認知度向上、防災知識向上の機会拡充、災害時の連携強化、運河沿いの治安向上に資する取組の拡充を提案します。	協働推進課			○		防災課等他部署と連携し、窓口の周知だけではなく、区ホームページ等も活用して、防災に関する情報提供を積極的に発信していきます。	
6	企業等と連携し、災害時に助け合える体制をつくる		協働推進課	○				「ベイエリア防災リンク事業」で対応します。災害時に来訪者等が安全・安心に過ごせるよう、協定を結んだ地域の事業者等と連携して、定期的に連絡会を開催し災害時に助け合える関係を創出します。	
7	楽しく気軽に防災の知識や備えについて学べる機会を充実させる		協働推進課	○				「ベイエリア防災リンク事業」で対応します。事業者等と連携し、防災週間などに楽しみながら防災の知識や備えについて学べる取組を実施します。	
8	運河沿いの治安面の改善や自転車利用者のマナーの向上に資する取組を検討する		協働推進課		○			「ルール・マナーの啓発活動の推進」で対応します。地域の警察署等と連携して、自転車のマナー向上・啓発に向けた取組を実施します。	
9	区有施設等で活動する様々なコミュニティをわかりやすく紹介する	芝浦港南地区には、芝浦・海岸、港南、台場の3つの地域コミュニティがあり、ファミリー層が多いのが特徴です。一方で、地域の町会・自治会などの地域コミュニティは参加者の固定化・高齢化が見られ、ファミリー層を巻き込んだコミュニティ形成が十分に取れていないのが現状です。そこで、地域内交流の促進に向け、地域のコミュニティに関する情報発信の手法を再検討し、誰もが参加しやすくなるような仕掛けの構築を提案します。	管理課			○		区有施設における地域コミュニティの紹介等をしていきます。また、施設のホームページ等で区有施設で活動する地域団体を紹介するなど、更なる地域コミュニティの参加者を増やす取組を実施します。	
10	地域のイベント等について、多様な広報媒体を活用した積極的かつ効果的な情報発信を行う		協働推進課				○		芝浦港南地区内で行われるイベントに関する情報を、新たに芝浦港南地区総合支所で始めたTwitterで発信するほか、区ホームページや地域情報誌等を通して積極的に情報発信します。
11	様々な人が気軽に交流できるような場を提供する		管理課	○					「みなとパーク芝浦ふれあい交流事業」で対応します。令和2年度に開館した港区立伝統文化交流館を地域のコミュニティスペースとして活用するほか、区内の事業者や団体、伝統文化に関する活動をする方と連携したイベント等を開催することで、人でのぎわう場所となるよう事業を実施します。

提言番号	提言	提言理由	所管課	反映結果				提言への対応
				地域事業に反映	主な取組に反映	既存事業で対応	反映できない	
12	既存の地域資源を活用しつつ、新たな芝浦港南地区ならではの魅力を発掘し、内外に発信する	芝浦港南地区には歴史的に浅い地域ということもあり、文化的資源はあまり多くありません。台場地域の来訪者が他の地域には流れてこないという課題もあります。	協働推進課	○				「SKDs学びのまちプロジェクト」で対応します。芝浦港南地区にある文化・歴史・産業といった地域資源等を講座を通じて学ぶことで、地域活動やボランティア活動を担う人材の育成を支援し、地区の魅力を効果的に発信します。
13	企業や他自治体との連携を進めながら、芝浦港南地区の魅力を発信する	また、既存の文化・歴史・産業といった地域資源や、芝浦港南地区の魅力については地区内外に知られていません。そのことから、地の利や既存の地域資源を生かした魅力を地区内の企業等と連携し、効果的な発信方法の検討などを提案します。	協働推進課	○				「歴史と文化がつなぐ地域交流事業」で対応します。秋田県にかほ市との交流をより充実させるため、新たな連携方法を模索するとともに相互連携を強化します。 「SKDs学びのまちプロジェクト」で対応します。企業や大学等と連携し、地域について学ぶ講座やワークショップの実施を通じて芝浦港南地区の魅力を発信していきます。
14	芝浦港南地区に将来も住み続けたいようになるように、子どもから高齢者まで多様な世代が交流できる場をつくる	芝浦港南地区の人口は、今後も全ての世代で増加が続き、令和8年には64,000人を超える見込みです。しかし、核家族化に伴い地域の支え合いや住民間の交流が少なくなっています。また、子育て支援は充実しているものの、支援制度を知らないなど情報の格差を感じます。芝浦港南地区に将来も住み続けたいようなまちの実現に向けて、従来の情報発信の在り方を見直すとともに、幅広い世代が交流できるような仕組みや交流の場づくりを提案します。	区民課		○			「地域での支え合いの充実」で対応します。高齢者セーフティネットワーク事業において、高齢者と子どもとのふれあいの場を創出します。また、地域の魅力やコミュニティを紹介した冊子、ちらしの配布や掲示などを通じて、転入者も含め区民が地域に愛着を持ち、多様な世代が集まる地域コミュニティに参加してもらえるよう啓発活動を行います。
15	福祉に関する情報を「人」の体験を通して伝えるなど、情報発信の方法を再検討する		区民課	○				「子育てあんしんプロジェクト」で対応します。育児等に関する情報提供の方法として、今後は体験談も交えて効果的かつ効率的な情報発信を行います。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた意見聴取の反映状況

1	「新しい生活様式」や「三密の回避」の徹底等による感染防止対策を講じた上で、提言を踏まえた事業等を実施する	—	管理課 協働推進課 まちづくり課 区民課		○			「新たな生活様式を踏まえた事業運営の推進」で対応します。オンラインを活用した事業の実施など、事業の性質に応じて、開催や運営の方法を検討します。また、人が集まる場合は、新型コロナウイルス感染症等に配慮し、万全の対策を取った上で事業を開催します。
---	--	---	-------------------------------	--	---	--	--	---